

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	園芸学概論							授業形態	講義	
科目コード	710127	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	廣瀬 大介、陳 蘭庄、長江 嗣朗、山口 健一、菅野 善明、前田 隆昭、杉田 亘								ICT活用	○
授業概要	本授業の目的は、園芸学分野に関する基本的な知識を習得することである。【知識・理解の育成】 講義は園芸学分野（園芸生産環境専攻、植物バイオ・育種専攻）の教員がオムニバスで実施する。									
関連する科目	1年時前期必修科目『環境園芸概論』に引き続き行う。									
授業の進め方 と方法	授業は板書とパワーポイントを用いて行う。随時、プリントなども配布する。									
授業計画 【第1回】	1. 落葉果樹の品種動向について（前田隆昭）									
授業計画 【第2回】	2. 常緑果樹の品種動向について（前田隆昭）									
授業計画 【第3回】	3. 花卉園芸学の基礎（花とヒトとの関わりについて）（長江嗣朗）									
授業計画 【第4回】	4. 花卉園芸学の現状について（長江嗣朗）									
授業計画 【第5回】	5. 作物の分類と用途（廣瀬大介）									
授業計画 【第6回】	6. 圃場を用いた実験方法について（廣瀬大介）									
授業計画 【第7回】	7. 園芸学の定義と園芸生産の産業上の位置づけ（山口健一）									
授業計画 【第8回】	8. 園芸生産の環境上の問題と改善〔1〕合成農薬と化学肥料（山口健一）									
授業計画 【第9回】	9. 園芸生産の環境上の問題と改善〔2〕資源リサイクリング（山口健一）									
授業計画 【第10回】	10. 蔬菜園芸学における在来野菜の文化財としての魅力と品種改良①（陳 蘭庄）									

授業計画 【第11回】	11. 蔬菜園芸学における在来野菜の文化財としての魅力と品種改良②（陳 蘭庄）
授業計画 【第12回】	12. 園芸作物におけるバイオテクノロジー技術の利用について(1)（杉田 亘）
授業計画 【第13回】	13. 園芸作物におけるバイオテクノロジー技術の利用について(2)（杉田 亘）
授業計画 【第14回】	14. 植物病理学入門ー演習入門ー（菅野善明）
授業計画 【第15回】	15. 植物病理学 -病原体と病気の防除-（菅野善明）
授業の到達目標	1. 園芸学の基礎を理解しながら、栽培や生産および育種関係の基礎知識を習得する。【専門分野の知識・理解の育成】 2. 園芸学分野で学ぶ上で、必要となる基礎的な専門用語も併せて習得する。【専門分野の知識・理解の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	本授業の1回目に15回分の授業のテーマを紹介するので、予め基礎知識を学習しておく。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	授業後には授業内容に関連した論文や資料等で学びを深めること。また、各回ごとに課題を作成する。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	課題についてわからない点やより詳しく学びたい点については、随時各教員が対応する。
評価方法・基準	各回ごとに課された課題から総合的に評価する。
テキスト	必要に応じ、随時配布する。
参考書	なし
備考	毎回資料を配布する。